

2007年

JAF/筑波ツーリングカー選手権  
シリーズ第4戦参戦報告書



レーシンドライバー  
岩倉 弘明

**Hiro Iwakura**

本年度は皆様のご支援のお陰で『JAF/筑波ツーリングカー選手権シリーズ』に参戦させて頂き、誠に有難う御座います。

先日、筑波サーキットで開催されました『JAF/筑波ツーリングカー選手権シリーズ第4戦』に出場致しましたので下記の通りご報告させていただきます。



レース名:

JAF/筑波ツーリングカー選手権シリーズ

第4戦

開催日時:

2007年11月25日(日)

開催地:

筑波サーキット(茨城県)



エントリー名:

IDIテクニカDLスターレット  
Car No.21 Class P1400

ドライバー:

岩倉 弘明

チーム名:

チームARM

メンテナンス:

レーシングサービス ロゴス(東京都あきる野市)

<http://www.rogos.com/>

協賛企業様(順不同):

アイ・ディ・アイInc.様

<http://www.idijp.com/>

住友ゴム工業株式会社様

<http://tyre.dunlop.co.jp/index2.html>

エンパイヤ自動車株式会社様

<http://www.sabelt-japan.com/>

株式会社ティーケールーム様

<http://www.tkroom.com/>



予選(ドライ):

15台中6位 BestTime1分8秒437

予選開始が8時と、今までよりかなり早い時間になり、気温が低い事も有り、慎重にタイヤを暖めてアタック致しました。

10周目にタイムを出し5番手になりましたが、最終ラップに1台に上回られ6番手となりました。

決勝(ドライ):

15台中5位 BestTime1分8秒560

スタートの動き出しは良かったものの、前車を抜くには至らずポジションキープとなりましたが、第1ヘアピンで前車を抜き5番手に順位を上げました。

トップ2台は逃げ、団子状態の3位争いの中でバトルになりました。

インフィールドではこちらに分が有りましたが、高速の最終コーナーの脱出速度を上げる事が出来ず、筑波サーキット一番のオーバーテイクポイントで有る1コーナーへのアプローチスピードが伸びない為、手が出せず勝負は膠着状態となってしまいました。

終盤にかけて、3,4番手のバトルが激しくなるにつれ、差が徐々に縮まりましたが、第2ヘアピンの立ち上がりでテールtoノーズになりながら最終コーナーの立ち上がりで離されてしまい、3番手と1.5秒差の5位でゴール致しました。

表彰台に立ち、シーズンを終えたかったのですが前車を抜く事が出来ず、非常に悔しい結果で終わる事になってしまいました。

皆様の厚いご支援のお陰でシリーズランキング6位で終える事が出来ました。

目標であるチャンピオンを獲得は出来ませんでした。が、難しいレインコンディションの中でのファステストラップ獲得など、私の中では非常に有意義なシーズンを送らせて頂く事が出来ました。

2007年の挑戦で得られた事が、今後の私のレース人生に於いて非常に大きな意味を持つと感じております。

1年間ご支援頂き、誠に有難う御座いました。

**Hiro Iwakura**